

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/10/10

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.61	0.21
JPY/THB	0.2588	0.0011
USD/JPY	145.25	0.11
EUR/THB	36.63	-0.03
EUR/USD	0.9744	-0.0047
USD/CNH	7.134	0.050
SGD/THB	26.24	0.08
AUD/THB	23.95	-0.02
USD/INR	82.33	0.44
USD Index	112.80	0.54

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.593	0.014
10Y (THB)	3.104	0.000
5Y (USD)	4.142	0.075
10Y (USD)	3.881	0.058

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,700.5	-11.2
WTI (Oil)	92.64	4.19
Copper	7,457.5	-150.0

Stock

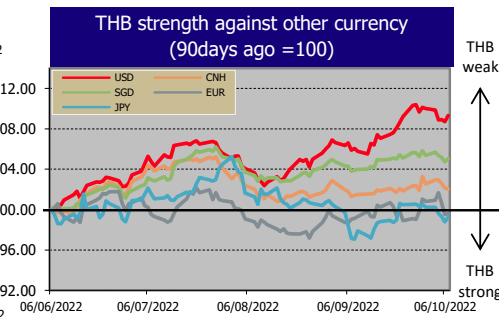
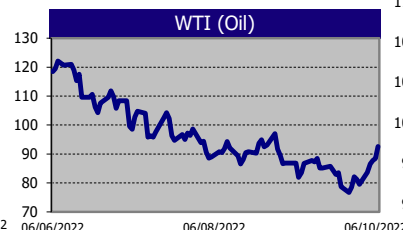
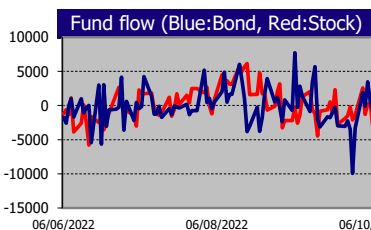
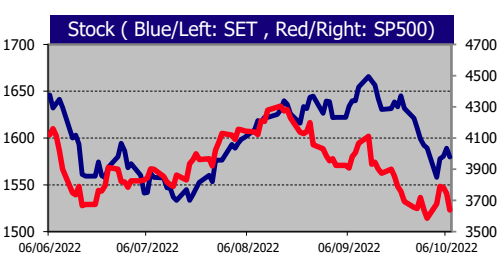
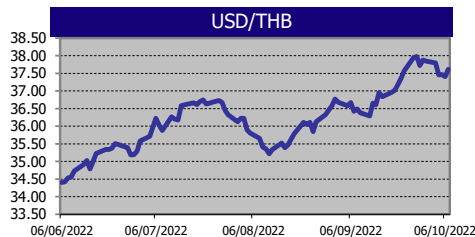
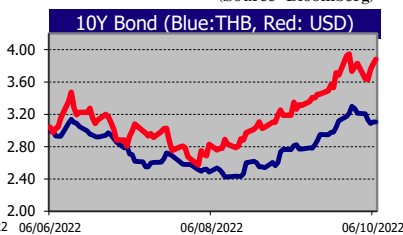
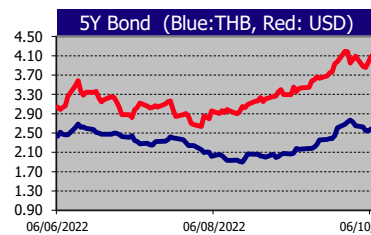
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,579.66	-9.52
NIKKEI (JP)	27,116.11	-195.19
DOW (US)	29,296.79	-630.15
S&P500 (US)	3,639.66	-104.86
SHCOMP (CN)	3,024.39	0.00
DAX(GER)	12,273.00	-197.78

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,087)	-3464.7
Bond net flow	(744)	-1316.6

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

7日のドルパーツは上昇。37パーツ前半で取引を開始し、日中は米9月雇用統計の発表を控えて様子見ムード。海外時間に注目の米9月雇用統計が発表され、賃金の伸びは予想通りに着地したものの、失業率が0.2ポイントも低下し、非農業部門雇用者数が予想を上回ると、強い米労働市場が確認されたことによるFRBの利上げ継続が意識されて37パーツ半ばへ上昇。NY時間引け間際には上げ幅を縮小したが37.61と前日比パーツ安で引けた。

●ドル円その他

7日のドル円は145円前半で取引を開始。夜間に米9月雇用統計を控えて動意乏しく145円近辺を中心に狭いレンジで推移し、欧州勢が参加してくるバンコク時間終盤にはドル売りが持ち込まれて144円後半へ。海外時間、米9月雇用統計において雇用者数が予想比増加、失業率が予想比低下する結果となり、市場は米株安と米金利上昇で反応。発表後は上下に振れたが、NY時間終盤には145円前半で推移し、145.25で引けた。

Bangkok Dealer's Eye

パーツが対ドルで直近一番の安値をつけた9月28日を基準とすると、先週末7日のオンショアクローズレートは対ドルで約2.6%も上昇し、主要なアジア通貨の中でタイパーツがトップの対ドル上昇率となりました。背景にはタイ中銀が9月に為替介入を行っていたとのカミングアウトや英政府が富裕層優遇と不評だった所得税最高税率軽減案の撤回、豪中銀が市場予想に反してサプライズのハト派スタンスをとったこと等さまざまな要因があったと思います。もともと、早いピッチで進んでいたドル高に対して、市場参加者が利食いの理由を探していたところにイ大きいイベントがタイミングよく重なったという位置づけが強いいため、ドル売りが一段落すると再び米金利やFRB高官のコメントに反応する展開への帰帰がメインになると考えています。実際、先週末の米9月雇用統計で労働市場の強さが確認されると、今朝方は37パーツ後半まで戻っています。今週はタイの連休中に米9月CPIの発表があり、連休中のボラティルな展開に注意が必要だと思います。(鈴木)